

ツマアカスズメバチの侵入状況調査と防除対策

(1) 種名 (学名)

ツマアカスズメバチ (*Vespa velutina*)

特定外来生物 (平成 27 (2015) 年 3 月指定)



(2) 生態の概要

- ・全体的に非常に黒っぽく、腹部先端部が赤褐色の特徴的な腹部斑紋パターンを呈する。
- ・体長は、分布域等によって差があり、ヨーロッパでは女王バチ 25-30mm、働きバチ約 25mm、東南アジアでは女王バチ 18mm 前後、働きバチ 14-17mm、雄バチ 16mm 前後です (対馬産働きバチは 22.5mm)。
- ・営巣場所について、女王バチは越冬後 (3 月下旬～5 月下旬)、単体で茂みや低木の中、土中等の閉鎖的な環境において単独で営巣を開始し、8 月以降、コロニーが大きくなると働きバチとともに樹木の上部など開放的な空間に引越しします。
- ・他のスズメバチ類と同様に様々な昆虫を獲物とし、飛翔中の昆虫を捕らえます。

(3) 分布状況の概要

- ・原産地は、中国、台湾、東南アジア、南アジアです。
- ・国内では、2012 年に長崎県対馬市にて亜種 *V. v. nigrithorax* の働きバチが初めて確認されました。翌 2013 年には、対馬上島を中心に、巣が見つかり定着が確認されました。

(4) 中国四国地方環境事務所の取組

- ・令和元年 11 月に山口県防府市新田 (三田尻港近辺) において、本州で初めてツマアカスズメバチの巣及び個体を確認しました (確認の時点で、巣はすでに害虫駆除業者により駆除済み)。これを受けて、本種の定着前に早期防除を行うために、防府市及びその周辺において侵入状況調査を 11～12 月と翌年 3 月の 2 回実施しましたが、本種は確認できませんでした。
- ・令和 2 年度は、防府市内において、ツマアカスズメバチ侵入状況等調査を春及び秋に実施予定です。また、ヒアリの 17 港湾調査と兼ねて、中国四国管内の港湾周辺での本種の誘引調査を実施予定です。

(5) 他機関の取組

- ・九州地方環境事務所：対馬のスズメバチ類モニタリング調査 (H26)
：対馬市におけるツマアカスズメバチの防除 (H27)

:宮崎県日南市におけるツマアカスズメバチ生息状況調査 (H28)

:大分県大分市におけるツマアカスズメバチの確認 (H30)

(6) 課題

令和元年11月に山口県防府市新田においてツマアカスズメバチの巣及び個体が確認されました。採取された個体は新女王及びオスバチであり、最初の発見前にこれらの個体が巣外に出ていた可能性があり、本種が発見場所周辺に定着する可能性が十分に考えられます。侵入初期段階での越冬女王の有無や、新たな巣の確認など生息状況を確認し、発見されれば早期防除を行う必要があります。

また、船舶等による侵入防止の徹底のために、港湾施設等の協力、港湾から積荷の搬入による陸路の拡散防止等、港湾及び運輸会社等への注意喚起が必要です。

(7) その他 (参考文献、HP等)

ツマアカスズメバチに関する情報 (環境省)

<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/tsumaaka.html>

ツマアカスズメバチ防除計画 (九州地方環境事務所)

<http://kyushu.env.go.jp/%E3%83%84%E3%83%9E%E3%82%A2%E3%82%AB%E3%82%B9%E3%82%BA%E3%83%A1%E3%83%90%E3%83%81%E9%98%B2%E9%99%A4%E8%A8%88%E7%94%BB.pdf>

山口県防府市におけるツマアカスズメバチの確認について (19/11/21)

<http://www.env.go.jp/press/107482.html>

山口県防府市内でのツマアカスズメバチ侵入状況等緊急調査 (3月期) の結果 (速報)

http://chushikoku.env.go.jp/pre_2020/post_115.html